



未来の先生展
2017

IoTの最先端教育実践

～ドローンが導く教育の未来～

パネルディスカッション公演形式

開催日時 2017年 8月 26日(土) 16:20-17:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館4F 408教室

講演者 安藤 昇 (学校法人佐野日本大学学園 ICT教育推進室室長)

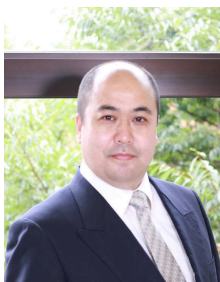
内容

佐野日大のICTを活用した教育への取り組みの歴史は古い。1990年にサーバー用のクリーンルームを設置し、校舎間を光ケーブルで結び、まずは先生方のICTの環境を整えた。現在では敷地内に216個所のアクセラポイントを設置し、生徒はタブレットやスマートフォンを自由に接続できる。2014年10月には生徒一人一台の環境が実現、現在ではクラウド上に150万ものファイルを蓄積し、教員生徒間でシェアをしあっている。しかし、ここまでの経緯は決して順調ではなかった。2000年に一度チャレンジしたWi-Fiの設置は当時のアーキテクチャーが追い付かず失敗し、一度有線に戻した。また、生徒一人一台のタブレット導入当初は教職員も利活用方法がわからず混乱を招いた。タブレットを導入して4年目となる今年、試行錯誤の中で生まれた佐野日大の新たな取り組みを紹介する。

ここに注目！

特に注目する内容は、今年4月から佐野日大に新設されたドローン部。6000坪のドローン専用コースを有するこの部活はドローンを活用した空撮・レース・農業・測量などあらゆる分野のノウハウが学べる。一人一台のタブレット環境の中でドローンから得られたデータはどのように活用され、授業に生かされているのかその実践事例を紹介する。

講演者プロフィール



安藤 昇

学校法人佐野日本大学学園 ICT教育推進室室長

1968年栃木県生まれ。日本大学理工学部物理学科を卒業後、物理教諭として佐野日大高校に赴任。Microsoft社のExpert Educators認定教員。数学・情報を教える傍ら、剣道部、放送部を全国大会上位入賞に導く。コンピュータプログラミングとクリエイティブ能力を生かし、オープンソースによる生徒用グループウェアの構築や、タブレットを題材とした動画CM「デジタルキャンパス物語」をネットに配信し人気を博している。また、佐野日大に導入した教員・生徒の1,800台のタブレットの運用に耐えうるWi-Fiインフラの設計の構築も手掛けている。4月からはドローン部を学内に新設した。

講演者から参加者へのメッセージ

高校で教育にドローンを活用した事例は全国でもまだ少ないと思います。当日はドローンの実演もありますのでよろしくお願いします。

